

## FACE

第55回佐保祭を振り返って！  
大学祭実行委員

黒木 優花さん

奈良県立添上高等学校卒業

奥野 花菜さん

奈良県立高円高等学校卒業

宮野 雅輝さん

京都府立京都八幡高等学校卒業

川田 稜真さん

奈良県立高円高等学校卒業

## VOICE

大学祭実行委員の仕事を通して  
信頼関係を築くために大切なことを学びました！**なぜ大学祭実行委員に立候補しましたか？**

奥野（委員長）：中学、高校のときに生徒会に所属していて、文化祭運営に携わった経験がありました。その経験から、自分たちで何かを創り上げることが好きになり、大学でもやってみようと思いました。

宮野（副委員長）：自分は、あまり積極的な人間ではなかったのですが、自分自身を変えるきっかけとして立候補しました。あとは、昨年度の大学祭でできなかった中夜祭を企画し、実行したかったからです。

黒木（書記）：奥野さんから一緒に実行委員をしないかと誘われたときに、自分は誰かを支える役が向いているなと感じたので、委員長をサポートできればと思ったからです。

川田（企画長）：自分が、カラオケ大会を大学祭で企画し、実行したいと思ったからです。

**大変なことも多々あったと思いますが、うれしかったことはありますか？**

奥野：大学祭が終わった後に、みんなから「お疲れ様」「いい文化祭だったよ」などと声をかけてもらったことです。

宮野：大学生活最後の大学祭で、みんなの前でバンド演奏を披露できたことです。

黒木：クラスダンスの優勝チームが決まり、優勝チームがアンコールのダンスが終わった後に、勝ったチームも負けたチームも、学科も関係なく、みんなで舞台上で踊れたことです。

川田：大きな事故もなく、一人も怪我をせずに大学祭を終えられたことです。

**大学祭で得た学びを教えてください。**

奥野：よりよい関係を築くためには、相手が来てくれるのを待つのではなく、自分から歩み寄ることが大切だと学びました。

宮野：連携することの大切さを学びました。他のイベントスタッフと情報を共有し、共通理解を図ることが大切だと感じました。これから社会に出るうえで必要なことだと思います。

黒木：お互いに助け合っていくことの大切

さを学びました。一人ではできないことも、協力すればできることや、支えあって生きているということを実感しました。

川田：チームワークの大切さを学びました。困ったときは、お互いに助け合うことが大切だと改めて実感しました。これから社会に出るうえでも、大切にしていきたいです。

**来年度の大学祭に向けて、在学生にメッセージをお願いします。**

奥野：準備期間は思ったよりも短いので、早めに行動することが大切です。

宮野：大学祭実行委員が、もっともっと他のイベントに深くかかわっていくことが必要だと感じたので、他のイベントスタッフとの連携をより一層強化してください。

黒木：今年よりも楽しいと思える、自分たちの大学祭を創ってください。

川田：実行委員会内の連絡を密にとり、情報を共有することを大切にしてください。今年度の大学祭での経験を次の世代に引き継いでいってください。

『プチアセビ』のバックナンバー  
をご覧ください。



1



5



2



4



3



6

1 地域子ども学科による展示物 2 食物栄養コース2年生 伝統の松花堂弁当 3 日本語教育別科によるダンス披露  
4 生活未来科案内パネル 5 クラス対抗ダンス♪今年も盛り上がりました！ 6 フィナーレ集合写真

## ナラサホ公式SNSアカウント

LINE@

- ・オープンキャンパスなどイベントのご案内
- ・入試情報
- ・本学の活動報告など、主に受験生や高校生向けの情報を配信しています。

奈良佐保短期大学と友だちになってうれしい情報をゲットしよう♪

**LINE@**

友だち募集中!

×

@narasaho





Instagram

- ・自然豊かな大学の風景
- ・オープンキャンパスなどのイベントの様子
- ・キャンパスの日常などの情報を発信し、ナラサホの魅力をお伝えしています。

Follow me!

×

@narasaho

ナラサホ公式 Instagram



